

シルバー 安全だより

第 8 号

平成 8 年 8 月 1 日
(社) 日向市シルバー人材センター
安全管理委員会

●●●安全就業について●●●



事務局長
東 弘

会員の皆さんにおかれましては、毎日暑い中就業されていると思います。ご苦労様です。

私も安全管理委員の皆さんと定期的に安全パトロールをしています。会員の皆さんは安全をモットーに就業されていまして。昨今は他のセンターよりも事故発生率が低かった事を見ますと安心しました。

しかし、危険はいつおこるかわかりません。センターとしても安全対策に心をくばっております。

その対策として、安全管理委員会を設置し安全対策の推進について検討もし、パトロールや発注者にもお願いしているところです。会員の皆さんにおかれましても安全第一で事故のないよう特にお願いいたします。

つゆが明け暑さ厳しい中なので健康に気をつけて下さい。また通勤される時に交通事故に合わないよう充分気をつけて下さい。

会員傷害事故発生状況

時間帯による事故件数調べ

	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	合計
就業途上	0	1	0	1	1	1	0	0	4
8:00~10:00	0	4	3	2	2	3 (2)	1	3 (2)	18 (4)
10:00~12:00	1	3	4	0	2 (1)	5 (1)	2 (1)	0	17 (3)
昼 休	1	0	0	0	0	0	0	0	1
13:00~15:00	3	5	5 (1)	3	3	2 (1)	0	0	21 (2)
15:00~17:00	0	3	2 (1)	3	0	0	0	0	8 (1)
帰宅中	1	2	0	0	2	1	0	0	6
合 計	6	18	14 (2)	9	10 (1)	12 (4)	3 (1)	3 (2)	75 (10)

※ () 内は物損件数

男女別事故件数調べ

	男	女	合計
元年	5	1	6
2年	12	6	18
3年	12 (2)	2	14 (2)
4年	6	3	9
5年	5 (1)	5	10 (1)
6年	8 (4)	4	12 (4)
7年	2 (1)	1	3 (1)
8年	3 (2)	0	3 (2)
合計	53 (10)	22	75 (10)

※ () 内は物損件数

(平成 8 年度の件数は平成 8 年 7 月 31 日現在のものです。
安全対策の一助としてこの統計をご活用いただければ幸いです。)

安全標語
・川柳の追加募集

※作品は事務局で受付けています。

締切日

9月13日金
に延期

5/13 将 7/31・8/1 将 安全パトロールを実施しました!

パ 場 ト ロ ー ル 所	平成8年5月13日(月)	平成8年7月31日(水)	平成8年8月1日(木)
	①城山墓地の除草作業	①日向市文化交流センターの清 掃作業	①日向市浄化センターの剪定作 業
	②本山定善寺の剪定・草刈作業 ③病院の除草作業	②大王谷運動公園の管理業務 ③大王谷市営プールの監視業務	②市営住宅の剪定作業 ③市道の草刈作業

〈チェックポイント〉

連日の猛暑のため常に疲労が蓄積しないよう休養を十分とるよう心がけ、尚、作業中には多くの水分を補給し脱水症状を起こさないようにしよう。全体的に作業場での標識等の不足が感じられ、機械等のコードが一部整理されていないため足に絡むように見受けられた。尚、箒で掃く時は前向きで作業を進めていくこと。そして麦わら帽子・腕衣(カバー)を着用するようお願いします。

副委員長 藤田辰巳

炎天下での作業では暑さ対策を会員自ら考え、帽子の着用・上衣の長袖着用等、服装には充分気をつけるようお願いします。夏場の健康管理には特に注意して就業に努めましょう。

河野利秋委員

日向市文化交流センターの特別清掃(ワックス塗布作業)においての剥離剤を塗布しポリシャーで作業する時、滑りやすくポリシャーの抵抗があり、足にかかる負担が大きいため滑り止めのあるシューズはないものか?。プールでの裏方さん(会員)の水をきれいにする努力を見させていただきました。

矢北正美委員

夏になるとわかっているけど「暑いですね」と言うのが挨拶ですね。朝から太陽が照りつけるなか、8月1日安全パトロールを日向市浄代センター剪定作業、塩田住宅剪定作業、大王谷草刈作業等の現場を見て感じた事は、何より皆さん健康で生き生きとして仕事面でも充分気をつけて働いておられることに感心しました。熱いアスファルトの上や木の上に登っての作業など暑い所の作業は汗をいっぱいかきます。体の中の水分が失われると血液が濃くなるそうです。血液の流れをよくするには水分を取り、夜は早く体を横にして、自分自身の健康管理と明日の安全管理に注意して皆様とのふれあいを大切に、お互いがんばっていきましょう。

若本セツ子委員

雑感

シルバー人材センターは健康で働く意欲のある高齢者が、これからの人生を「いきいき」とくらししていこうというのが主旨ですから、事故に遭う、また事故の不安を抱えて就業するなどということはあってはならないことです。しかし、どのように注意していても生身の人間ですから、ちょっとした気の緩みなどが事故に結びつくこともあります。「就業の安全確保」が最優先の課題であることを心に刻み、日頃からその対策を講じることはきわめて大切なことです。事故を起こさず安全に注意して元気に働きましょう!

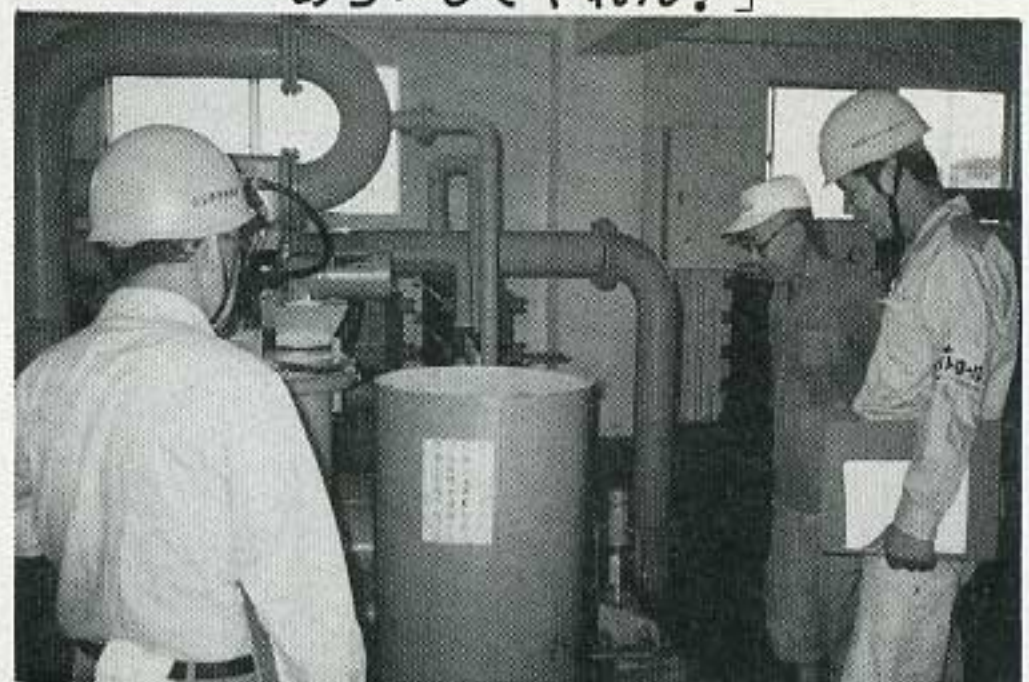
委員長 井上 繁



「きれいになるもんじゃね!」



「あちいしてやれん!」



「裏方さんの仕事に感心!」



「夏は蜂にご用心!」